

「日常」

2014 年 11 月 15 日(土)

会場：Alba Cafe (外苑前)

参加：13 名

司会・文責：野田

1. 概要：

- ・ 日常とは何かについて、毎日の繰り返しを基準にした考え、自分のあるべき状態を基準にした考え、将来の夢の実現をもとにした考え、他者との関係性を元にした考えや、平凡な毎日だが日常を感じられないことなどが議論されました。

2. お題の説明

- ・ 非日常とは違って注目されにくい日常について考えます。

3. 日常とは何か

- ・ 毎日の繰り返し。納豆やアイスを毎日食べることにしていると、納豆がないときに日常でないことを意識する。この考え方では、今が日常であることは意識できない。日常でない事態に直面して、普段と同じだった昨日が日常であることに気付く。
- ・ 毎日の繰り返しの中で、労力を要するような異常事態がなく、余力があり、安定した生活を維持できていて、安心しているという感覚。
- ・ 日々の生活には、いいことも悪いこともあるが、悪いことを無視して、一部を抜き出して、日常だと感じる。
- ・ 震災があつて、被災者が日常を失ったという報道がなされた。友人と話をしていて、自分も友人も境遇が変わる時期であつて、日常でないことに気付いた。
- ・ 地震のようなリスクは日常を奪う。リスクがあることを日々意識すべきだが、日常に埋没すると忘れてしまう。
- ・ 毎日同じような繰り返しだが、日常を感じられない。毎日夜寝る前に、何とか生き延びられたと思う。他の人と比べて特に変わった生活を送っているわけではないが、毎日何が起きるか分からない。潜在的なリスクやチャンスを意識してしまう。
- ・ 退屈な日常。専業主婦で、毎日同じことの繰り返しで、何かやりたいことが出来ているわけではなく、日々が過ぎていく。日常から脱却したい。
- ・ 日常の退屈さを感じても、受け取り方を意識的に変えれば、日常の中に非日常を感じることが出来る。行事を定期的に行うことで、非日常を取り入れることが出来る。
- ・ 自分のあるべき状態、地に足がついていてバランスがとれていて真ん中にいることを確認できている状態。しっくり来ないと調整する。
- ・ 将来の夢の実現に向けて、隙間時間をみつけて勉強するなど、成長するための有効な時間の使い方を見つけたときに、日常の確からしさを感じる。
- ・ 他の人と同じような生活をしていると日常だと感じる。
- ・ 過去の楽しかった毎日をノスタルジックに思い返す。その当時は楽しさに気付いていなかった。
- ・ 「クレヨンしんちゃん」や「サザエさん」のように、やんちゃな子供を暖かく見守る、といった、ほのぼのとした心温まる関係が持続していること。

4. まとめ：

- ・ 日常について、参加者各人の視点に立った、多様な考え方が示されました。未来や他者との関係性に着目した考えは、報告者には新鮮でした。参加者からは、奥の深いテーマであるとのコメントを頂きました。

以上